

北実会へ声をお寄せください

北実会では、会への入会やサポーター登録のお誘いと合わせて、北総線の高運賃に関する沿線住民の皆様の率直な声を募集しています。

これまでにお寄せいただいた、声をまとめましたのでお知らせします。

北総線の高運賃問題は、京成グループとして沿線住民の声を踏みにじって、近距離激高のメタボ運賃を押し付けたままです。

超優良企業の北総鉄道へ沿線自治体が補助金を出すこと自体が、根拠に困るようなひどいものですし、北総鉄道を利用した京成の沿線住民収奪のひどさは他に例を見ないものです。

2年余前にできた消費者庁・消費者委員会では、最近「公共料金に対する見直し（鉄道に関しては、デフレ時代なのに従来の運賃のままでいいのか、運賃申請時の根拠数字が開示されていない、運賃の設定方式そのものが現状に合っていないのではないか、鉄道建設時に認められた特別運賃がそのまま継続されたままでいいのか等々）の問題提起（消費者委員会が2/28に政府へ建議…回答の義務がある）をしたり、消費者庁は「公共料金に関する研究会」を立ち上げ、電気料金、鉄道料金、水道料金に絞った問題の研究を開始しました。

私たちも、京成電鉄の申請した「成田空港線の上限運賃申請関連資料」の開示を求めてきましたが、肝心な部分は墨塗りで読み取れません。このことに対して、内閣府情報公開審査会へ不服申し立てして、京成の主張（企業秘密）をうのみにしている運輸審議会へ開示を迫ろうとしています。

運賃値下げの運動は、一朝一夕には解決しそうもありませんが、大きな流れとしては住民側へ有利に展開しつつあるようです。

北実会が皆さんにお願いしている文書は添付のアンケート形式のハガキです。多くの方々が、会員登録、サポーター登録、利用者の声をお寄せくださいますようお願いいたします。

(2012年4月15日 北実会事務局 間嶋)